

町田市立成瀬中央小学校

校長 坂西 圭子
(公印省略)

2020年度 学校評価報告書

1 今年度の学校経営計画の重点

(1) 確かな学力を身に付けさせる学習指導

- 集団で学び合うために、学習規律の徹底を図る。
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着により学習意欲の向上を図る。
- 言語活動の充実を通して、考えたり、表現したりする場面を設定する。
- 学習者としての自覚をもたせ、自分の学びを振り返らせる。
- 教育環境を整える。

(2) 一人一人を大切にしつつ、規範意識を育てる生活指導

- 人権教育を推進し、子供たちの自己肯定感を高めながら、いじめの未然防止に努める。
- いつでも、どこでも、どの教職員でも一貫性のある指導をする。
- 安全教育・防災教育の視点から自分の身を自分で守る判断力・行動力を付ける。

(3) 特色ある教育活動

- 心と体の安定を図る外遊びを一層推進する。
- 校内・関係機関との連携により、個に応じた教育の推進をする。
- 自分の地域を愛する心を育む教育を、教科横断的に推進する。

(4) 家庭や地域との連携

- さまざまな手段で、学校の教育活動全般について情報発信をする。
- 地域の施設や環境、人材を生かした教育活動を計画的に推進する。
- 保護者や児童アンケート、学校関係者評価から教育活動を振り返り、改善する。

(5) 学び合う教職員集団 ※この項目省略

2 自己評価の総括

(1) 学習指導

保護者向けアンケートでは、「基礎的・基本的なことがらの定着により学習意欲の向上が図られた」という97.4%の肯定的評価を得た。さらに、「考えたり、表現したり場面を設定した授業をしている。」も91.5%の肯定的評価である。臨時休業中の学習課題の質や量、日頃の宿題や家庭学習の量にも満足などの声もある。また、「すすんで読書をしている」が54.8%(児童アンケートでは79.6%)と昨年度と同様に低い。ため何らかのアプローチが必要である。

(2) 生活指導

保護者向けアンケートでは、「規範意識」90.9%、「あいさつ」88.0%「いじめの未然防止に対する取組」88.9%の肯定的評価を得た。しかし、「ネットマナー」について、より丁寧に広報し、家庭と連動していく必要性を感じる。

(3) 特色ある教育活動

「特別支援教育の推進」に関しては86.5%の肯定的評価を得たが、「小中連携」については18.8%が分からないと答えており、一層の広報が必要である。一方、オリパラ文化プログラム実践校としての教育や児童主体の校外とつながるボランティア活動をすすめることができた。

(4) 家庭や地域との連携

情報発信は97.1%、学校公開などに対しては97.1%の肯定的評価を得た。保護者会のリモート併用、学年ごとの授業公開などコロナ禍に柔軟に対応した成果である。

(5) 学び合う教職員集団

教育公務員としての自覚、社会人としてのマナー・モラル、教育のプロとしての授業と全教職員が意識して職務にあたり、肯定的評価も90%を超えた。個々に足りないところは補いながら、「チーム成瀬中央小」として力を伸ばす。

3 学校関係者評価の総括**(1) 学習指導**

- ・臨時休業分の時数を、モジュールなどで子供の大きな負荷なくすすめたことはよかった。
- ・家庭学習の在り方や家庭で補充するという意識がすすんだと感じる。
- ・算数少人数の講師補充ができずに、10月半ばからできなかったことは残念である。

(2) 生活指導

- ・登下校でよくあいさつする児童が多く、注意した時も素直である。
- ・交通ルールもきちんと守ることが徹底されていた。

(3) 特色ある教育活動

- ・行事の柔軟な対応もよく、とても工夫されていた。今後も、保護者の思いを受け止めてすすめてほしい。

(4) 家庭や地域との連携

- ・ホームページがこまめに更新され、このような状況下でも保護者が不安になることが少なく、とてもよかった。かなりのアクセス数があった。ポプラの風(教育活動だより)からも、相当な情報を得られた。
- ・リモートの保護者会などが、若い世代の保護者からも大変好評である。
- ・花壇の整備など、地域がさらに貢献したい。

(4) そのほか

- ・校舎の経年劣化や校庭の不具合などが、児童の安全上も心配である。
- ・このような状況下でも、保護者の評価が非常に高く、努力や工夫が伝わっている。
- ・体力・学力ともに低下させない努力が素晴らしかった。
- ・まちともへの参加率が他校より高く、やりがいを感じる。
- ・「読書習慣」や「外遊び」の数字が気になる。家では、ゲームで過ごすことが多くなっているようだ。

4 学校評価を受けた改善策

- (1) 学習指導** 基礎的・基本的な知識・技能を、Chromebookの活用や家庭との連携で定着させるとともに、一人一人の学びを深める授業を今後も模索する。また、読書の推進について、実践していく。
- (2) 生活指導** 今年度計画したまちとも・学童と連携した避難訓練を実施し、自分の身を守る判断力・行動力をさらに育む。日常の言動について、教職員間で把握し共有できるように努力を続ける。
- (3) 特色ある教育活動** 地域連携担当が窓口となり、ボランティアコーディネーターと連携したゲストティーチャーによる授業を、より意図的・計画的にすすめ、6年間で育てたい児童の育成につなげる。
- (4) 家庭や地域との連携** 年度当初の全校説明会のほか、保護者会やPTAの会議などを活用し、意見をうかがう時間をさらに確保する。
- (5) 学び合う教職員集団** 教職員それぞれのよさを発揮していくために、会議等の精選、事務効率化を図り、子供や授業に向き合うゆとりを生み出す努力をさらにすすめる。

5 学校評価の結果の公表

- (1) 公表の方法** 保護者：アンケート集計結果を「教育活動だより」にまとめ配布
- (2) 公表の内容**
 - ・町田市共通項目と学校独自項目すべての数値
 - ・自由意見すべての公表(学校からのコメント付き)